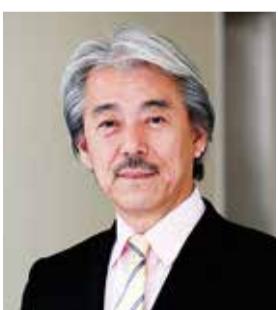


いのちです。守りたいのは



公益社団法人
全国自治体病院協議会 会長
邊見 公雄

〈賛同者の方々〉



神戸常盤大学短期学部
口腔保健学科教授
足立 了平



松本歯科大学名誉教授
笠原 浩



精神科医
香山 リカ



佐久総合病院
地域医療部 医師
色平 哲郎



長崎大学元学長／
長崎大学元医学部長
土山 秀夫

私は旧滿州國(現中国東北部)ジャムス生子れど、母は新江みがて 滿州鐵道、ソウル、アサン経由で下関までようやく帰った時です。中国残留孤児のテレビで出た度に母は四国。完栄が「知り合ひがあるかもわからんから見てけ」と私に電話で命令します。幼い私が重い手をもつてお母さんのですから、母はどこもはで戦後にはなり、という言葉は胸に落としていた子供のとき。私の父は陸軍で座りました。敗戦後10日前にフィリピン、ルソン島、カガヤン海峡で傷病兵を守り、赤十字の施設で2ヶ月間に鬼畜米英に爆弾され飛行機に死んでしまった。入院しながら仇殺れ上り祖母の言ひ方を聞かされました。そして私の家族、中国残留孤児の事を経験を語るもさせられません、医療は人の生命を守るために仕事です。戦争は医の倫理の最も大きな行為です。解釈改憲をめぐらす医師の地域偏見、診療料偏重の解消のためには少し努力も必要です。

本当に國を守るのを放棄しかねないと考えます。

邊見 公雄

医師・歯科医師は『安全保障関連法案』の強行に反対します。

各賛同者のメッセージはHPに掲載